

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【宮城県】

1 実践テーマ	【I, II, III, V】
2 実施対象者	<p>仙台市立秋保小学校</p> <p>第1学年 7名, 第2学年10名, 第3学年 7名 第4学年13名, 第5学年 5名, 第6学年 8名 計50名</p>
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (図工, 体育, 道徳, 総合, 特活, 自立活動)</p> <p>② 行事名 (運動会)</p> <p>③ その他 (給食)</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 (みんなのメダルプロジェクト)</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・夢や希望を大切にし、共生社会を生きる児童を育成する。 ・パラリンピック種目を体験することで、競技の魅力を知るとともに障害への理解を深める。 ・オリンピック・パラリンピック学習を通して、スポーツの価値や国際・異文化への理解を深める。 ・メダリストの生き方に触れ、目標を持って努力する態度を育む。
5 取組内容	<p>オリンピック・パラリンピック教育を校内研究に位置付けた取組</p> <p>研究主題 「夢や希望を大切にし、共生社会を生きる児童の育成 ～オリンピック・パラリンピック教育を通して～」</p> <p>【研究授業（教科教育型）：教科における教材としての活用】</p> <p>(1) 1年生 道徳「みんな いっしょ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好き嫌いとらわれず、みんなに同じように接しようとする心情を育てる。 <p>(2) 2年生 道徳「共にゴールを目指して」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リオデジャネイロオリンピック陸上女子 5000 メートルでのアビー・ダゴスティノ選手とニッキー・ハンブリン選手の行動から、思いやりを持って相手に接しようとする心情と態度を育てる。 <p>(3) 3年生 道徳「みんなでかちとった銀メダル」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リオデジャネイロオリンピック陸上男子400mリレーの日本選手の活躍から、目標に向かって、失敗を恐れずに強い意志を持ち、粘り強くやり抜く心情を育てる。 <p>(4) 4年生 道徳「フィニッシュの後に」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平昌オリンピックスピードスケート女子500mでの小平奈緒選手と李相花選手の姿から、友達と互いに理解し、信頼し、助け合っていていこうとする心情を育てる。

(5) 5年生 図工「学校の風景を描こう」

- ・東京 2020 ポスターを描くことにより、オリンピック・パラリンピックを身近に感じ、自分自身も参加しているという意欲を持つ。

(6) 6年生 体育「ゴールボール」

- ・ゴールボールを体験することで、パラスポーツを身近に感じ、興味を持つ。
- ・ゴールボールの魅力を知り、人に説明できるようになる。

(7) あおば（特別支援学級）

自立活動「楽しくボッチャをやってみよう！」

- ・ボッチャを楽しみ、パラリンピックスポーツに興味を持つことができる。
- ・ボッチャを楽しみ、競技の魅力に触れることで、自分の言葉でボッチャのよさを人に伝えることができる。



【総合型：総合的な学習の時間の活用（教科を超えた総合的な実践）】

(8) 3, 4年生「おもてなし講座」

場所：秋保温泉 篝火の湯 緑水亭

- ・清掃体験
- ・おもてなし講座
あいさつ、歩き方、戸の開け閉め、お茶出しなど
- ・講話



【行事・発表型：学校行事（文化祭・運動会など）の活用】

(9) 運動会 オリンピック・パラリンピックを取り入れた親子種目

- ・上学年「半分 パシュート」
- ・下学年「そだね〜！ボッチャ楽しもう！」



【イベント型：オリパラ教育を前面に出したイベントの開催】

(10) 全学年 「ボッチャ体験教室」

講師：廣瀬隆喜選手、蛭沢文子選手、

村上コーチ、新井コーチ、三浦氏、前野氏

- ・選手と一緒に会食
- ・講演

①ボッチャの用具やルール説明

②デモンストレーション

③児童から選手への質問

・体験教室

①縦割り班4チームによるボッチャ体験

②選手と6年生の混合チームによる試合

・公開練習・一般向け体験教室



(1 1) 4～6年生 「ハードル走教室」

講師：大朝尚子氏

・事前学習 道徳「0.03秒の壁」

・ハードル走教室

①実演

②体験

・一緒に会食



(1 2) 5, 6年生「体力向上教室」

講師：センダイガールズプロレスリング

橋本千紘選手, 岩田美香選手

・実技学習

①準備運動

②主運動



(1 3) 4～6年生「オリンピックの意義や歴史について」

講師：仙台大学 小林弘樹氏

・オリンピック・パラリンピックの意義と目的について

・オリンピック・パラリンピックの歴史

・参加国と加盟国について


・日本の主なメダリストと宮城県のメダリスト

・オリンピック・パラリンピックの豆知識

【生活型：日常生活にオリンピック教育を関連付けた活動】

(1 4) オリンピック・パラリンピック給食月間

過去にオリンピック・パラリンピックが開催された国の料理を味わう。

	<ul style="list-style-type: none"> • 中国料理 2008年夏季 北京 • イタリア料理 2006年冬季 トリノ • ロシア料理 2014年冬季 ソチ • ギリシャ料理 2004年夏季 アテネ • 韓国料理 2018年冬季 平昌 • フランス料理 1992年冬季 アルバービル  <p>(15) 都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト 学校にボックスを設置し、使用済み携帯電話・スマートフォンを回収する。お便りを配布し、保護者だけでなく、地域の方にも協力を呼びかける。</p>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> • オリンピック・パラリンピック教育を校内研究に位置付け、学校全体で取り組んだ。児童、教員の意識が高まり、効果的にオリンピック・パラリンピック教育を進めることができた。 • パラリンピアンとの交流やオリンピック・パラリンピックスポーツの体験を通して、競技の魅力を知り、障害への理解を深めた。 • オリンピック・パラリンピックを題材とした授業を通して、よりよい生き方やルールやマナーを遵守することの大切さを学んだ。 • オリンピック・パラリンピックの意義や歴史を学び、東京 2020 への興味・関心が一層高まり、スポーツを楽しむ心が育った。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 校内研究を通じた取組。 • 現在実施している教科等へのオリンピック・パラリンピックの価値の位置づけ。 • NHK ハートスポーツフェスタの活用。 • 仙台市アスリート活用事業の活用。 • 秋保温泉組合との連携。 • 学校便り、ブログ等での保護者への周知。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 継続的かつ計画的な指導をするための単元構成の工夫。 • オリンピック・パラリンピックを題材とした道徳の授業を行う際の価値項目の設定や中心発問の吟味。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 東京 2020 に向けて、オリンピック・パラリンピック教育を継続していく。